

国際貢献トピア岡山構想を推進する会

「宗教者委」の設置確認

垣根越え人道援助で協力

県内のNGOで組織する「国際貢献トピア岡山構想を推進する会」は二十四日、同会の会員らの研修集

会「トピアネットワーク」を開いた。集会で、同会に宗教団体で構成する「人道援助宗教者委員会」

(仮称)の設置を確認した。

トピアの会は、今月中に雲南省地震の被災者救援

に活動するAMDΛ(アツア医師連絡協議会)支援のため、多くの宗教団体が宗教の垣根を越えて協力した実績を評価。今後継続的に人道援助を行うため、宗教間のネットワーク組織をつくることにした。現在、

八つの宗教団体が参加の申し入れをしている。近く開かれるトピアの会の総会で、委員会の正式名称や構成団体を決定する。

また、集会で、チエルノブイリ原発事故で被爆した子供たちを日本に呼んで療養してもらおうと、先月二十二日に発足した「チエルノの子供たちを救う会」の活動報告、緊急援助で救援機チャーターを行う県航空協会の活動などが報告された。